

幼年期福祉演習
担当教員名：檉田美雄
レポート題目：期末レポート
(課題 A)

鳴門教育大学 大学院
学校教育専攻 人間形成コース
M 1 筑後宏美

提出日：2011/01/24

【課題A トランスクリプト系レポート】

<1. 目的>

現在、学習塾という存在はなくてはならないものになっている。そもそも学習塾とは、学力の補強や学習の補助をする施設である。学校の授業だけでは理解できない学生を対象としたり、高校や大学への進学のために利用する学生もいる。だからといって、学習面で不安を抱えている学生全員が、学習塾を利用しているわけではない。また、教育機関である学校の存在はどのように考えられているのか。立場が異なれば、その考えも異なる。ここでは、立場の違いに注目して、学校と学習塾の違いについて明らかにしていきたい。

<2. 対象>

2010年4月から正教員として大阪市で勤務されている中学校の理科教員
アルバイト先の学習塾の教室長
2011年に教員採用試験を受ける大学院1年生

<3. 方法>

- ・上記の人と1対1で「学校と学習塾の違い」を質問し、その時の会話をICレコーダーで録音する。
- ・立場による考えの違いが見られるところの音声トランスクリプトを作成する。
- ・をもとに立場の違いと考えの違いについて分析する。

<4. 音声トランスクリプト>

対象者：中学校の理科教員(以下Y)

インタビュー内容：質問者(以下H)が「学校と学習塾の違いについて、現場でそれを実感したことがあれば、そのエピソードをもとに考えを述べてください」と発問した。それを受けたYは、2点違いを挙げた。以下の音声トランスクリプトはその2点を述べている時のものである。

(時間：0'21～2'13)

- 01 Y： まず1つ目 は。
- 02 H： はい。
- 03 Y： え：：ま利益を求めるか求めないかの話かな(.)と思いま す。
- 04 H： はい。
- 05 Y： え：：ま塾：：はやっぱ今受験生を持ってるんですが(2.0)え：：ま進路の関係になってきて：塾では：やっぱり有名な高校とか有名 なえ：：学校に：行かせたい-がために(0.3)ちょっと厳しい：めの子でも「受かりますから：：」とか。
- 06 H： ほう。
- 07 Y： 「ま：行ってみたらいいんじゃないです か：：」っていう風に保護者とえ：：まあ相談(0.3)してるらしくて(0.3)まあ学校によく持ち込んでくるんですが(1.0)え：：ま学校の方からすれば(.)まあ一 応まあい いところには 行ってほしいな(1.0)ていうのもあるんですが(.)やっぱりこの先ついて行 けるか とか、まあこの先やっていく のに この学力でいけるかとか(.)やっぱそこ先先を考えていく と やっぱりど：しても 無理 な子どもってというのは出てくる(0.8)と思う(.)思います。で(.)え：：やっぱりそ の：：面 ではやっぱり塾ではゆ(0.3)有名な高校を通した(0.5)とかよく発表されて いるんで (.)やっぱり(0.4)塾はそうゆう部分では利益を求めてるんじゃないか な：：と 思いま す。
- 08 H： はい。
- 09 Y： で2つ：：目は(3.0)え：：まあ子ども への 対応の仕方かな(.)と思いま す。え：：塾でまあ(1.0)喋ってたり(1.0)まあざわついでても、そこまで学校までは怒られんと(0.5)思います。え：：(1.0)その他にも、え：：子どもへの対応の仕方生徒

指導：(.)でもそうですが、悪いことしたら悪いで：本気で怒らなきゃいけない年頃だし(1.0)塾でその：悪いことをして もま そこま で 本気 で怒られることも >保護者の目があると思うんで、怒られることもない(0.8)と僕は感じてます。

10 H： はい。

対象者：学習塾の教室長

インタビュー内容：Hが教室長(以下I)に「学校と学習塾の違いを、教室長の立場をふまえて、意見を聞かせてください」と発問したところ、Iは学校は社会的ニーズを満たすための人を育てるところであり、必ずしも生徒のニーズを満たしているわけではない、これに対し学習塾では生徒のウォンツを満たしながら、将来的に必要な学力を育てていくところと述べた。また、学習塾の講師は大学生や大学院生といった人が多く、年齢も近いので、ピアカウンセラーのような立場で介入がかけられるのが利点であるが、より近い存在になろうと思えば思うほど、通塾回数を増やさなければならず、費用が高くなるのが難点であると述べた。以下は学習塾の利点と難点を述べている時の音声トランスクリプトである。

(時間：2"37～4"10)

01 I： え：：とま、小中高に分かれてるっていうのが、え：物理的にもま学校(.)<ですと分かれてるところがあると思うんです。ま最近ですと中高一貫校っていうのも出来てきて、その中で自由な枠組みを作って人材、え：：より優れた人材を作り出すっていう動きはありますし、私立ですと小中高 大ま でエスカレートで行くところも。でその中で、え：：ま(3.0)いろいろな学年、広い学年、年齢層(.)のえ：組み合わせっていうのが(2.0)イベント以外でもえ：：出会うことができるのも、塾の特徴なのかなと。でそれを含めてま、講師についても(0.5)え：：そのまま講師になる方もいらっしやいますし、え：ここの塾ですと大学生を主に講師として取り入れてるので、近い存在として、え：：ま(2.0)ピアカウンセラーのような形でえ：介入が、生徒に対して介入が出来るっていうのも、一ついいところかなと。で、え：ま、それに、が公的教育機関であるかないかっていうと、保健室が通常そういう立場になると思うんですけど保健室ですと、ま通常ですとかなり年上の先生っていうのが主になってきますし<辞める方も少ないので。

02 H： はい。

03 I： で、それから考えれば塾っていうのは、ここだけなのかも知れませんが、年の近い、ほんとに信頼してもらえる生徒さんと講師間の関係っていうのを築きやすいんじゃないかと思ってます。

対象者：大学院1年生

インタビュー内容：Hが大学院生(以下R)に「学校と学習塾の違いについてあなたの意見を聞かせてください」と発問したところ、Rは学習塾は勉強をしに来るところで、学校は人間形成や勉強以外のことを教えてくれるところと述べた。また、学習塾と学校のそれぞれに先生がいるが、立場が違うため、両者のモチベーションも違うということ、進路のことについては学習塾の方が圧倒的に詳しい点の3点について述べた。以下は他の2人からは出なかった学習塾の進路面での強みについて述べている時の音声トランスクリプトである。

(時間：2"43～4"39)

01 R： <あh!あとねえ、え：と塾の先生の方が圧倒的に進路のことは詳しい。

02 H： ((驚いた感じで))お：。

03 R： 学校の先生は。

04 H： うん。

05 R： 一見知ってるようやけど、ん：：と<結構塾は裏側で高校とかやったらその高校と繋がってたりするし。

- 06 H: ほう。
- 07 R: 私立とかや と、その 塾の先生塾の塾長とか は私 立の先生と繋がってて、今年うち何人受けたいんですけどとかって言うのを言ってるま(0.5)よほど難関校以外はある程度もう入学が決まった状態で。
- 08 H: うん。
- 09 R: 子どもたちが知らただけで入試を受けているってことが多々ある。
- 10 H: あ: :。 [°そh° , それはあの: : (.)R のその塾(.)][のまぁ講師[の=
- 11 R: [うん [うん [そうそうそう
- 12 H: =経 験(.)から[思ったこと?
- 13 R: [そうそうそうそうそう, [うん。
- 14 H: [お:。
- 15 R: 塾の, 塾長に =
- 16 H: うん
- 17 R: =塾長にそのそういう話を聞いたことがある, うん。
- 18 H: [お: !
- 19 R: [普通に, うん。
- 20 H: なかなかの裏話やね h h h h h h [.h
- 21 R: そうそう [んでん: やししかもその(0.4)やっぱ学校の先生は
- 22 H: うん。
- 23 R: <学校の先生はなんか仕事が多いから進路指導って言ってもかなり表面的なことしか(.)言えへんくて。
- 24 H: うん。
- 25 R: ほんとにこういろんな模試の結果とか総合的に見てここに行けるとか行けへんとかかっていう(.)判断あんまりしてくれない。
- 26 H: う: [ん。
- 27 R: [あくまでなんか本人ここ受けたい(.)まぁこの子の学力やったらってのはおよそわかるかもしれんけど, 塾ほど(0.5)その真剣さはないみたいな。
- 28 H: あ: 。
- 29 R: <塾の方が進路指導とかはしっかりしてて [傾向とか =
- 30 H: [ん:]
- 31 R: =わかってるし。
- 32 H: うん。
- 33 R: んでこの子の学力でこの模試で何点取ってたりとかそういうことも含めて, ま(.)ある程度その(0.5)受かる受からんてラインをしっかりと, 出してくれるみたいな。
- 34 H: [う: ン。
- 35 R: [のは塾かな。ん: : , ん: : そやね。(2.0)まどっちとも, 親はうるさいしね。
- 36 H: ん h h h h h [.h そやね。
- 37 R: [()う: ン。

< 5 . 分析結果 >

5 - 1 . 引用データ選択理由

3人の立場の違う方に「学校と学習塾の違い」をテーマに意見を述べてもらい、3人のオリジナルの意見が出ている箇所を音声トランスクリプトを作成することで、立場の違いと考えの違いを比較出来ると考えこれらを選択した。

5 - 2 . 自己分析

対象者の立場によってテーマの違いは現れていた。Yは現職の教員であるため、学習塾は利益を求めているからこそ、学習者の現状では確実に合格できるとは言えない志望校でも受験を勧めているのではないかという意見を述べていた。この点に関して、Yは学習塾に対して良い印象は持っておらず、本当に学習者の実力を考慮して進路相談に応じているのは学校であると述べていると考え

られる。これに対し R は、塾講師の経験から、学習塾は学習者が勉強しに来る所であり、中でも受験生への対応は手厚く出来ていると述べた。R は利益という言葉を用いてはいないが、学習塾はサービス業であり、保護者からお金を受けとって事業を行っているため、そのニーズへの対応をいかに行うかが学習塾の役割であると述べていると考えられる。また I は、学校は社会的ニーズを満たす所で、学習塾は学習者やその保護者のニーズを満たす所と述べている。そもそもの役割が違っていると捉えており、それぞれの利点と難点を述べている点から、中立的な意見を持っていると考えられる。

<6. まとめ>

アルバイトで学習塾の講師をしているが、私自身のこのテーマに対する答えは、学校は学習指導要領に従って教えなければならない範囲が決まっているが、学習塾は学習者が求めるものを提供する場であり、学校ほどの縛りがなく、ニーズの応え方で学習塾間の個性が出しやすいものだと思っていた。今回のインタビューを通して、同じテーマであってもこのように意見が異なっているのは話し手の立場や経験が違っているからであり、今まで意識することが無かったところに着目出来たので良かった。